

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第3委員会室 担当職員 佐藤
日 時	令和元年8月26日(月曜日)	開 議	午後 2 時 58 分
		閉 議	午後 3 時 50 分
出席委員	◎小川、○奥野、田中、赤坂、藤本、竹田、菱田		
出席理事者			
出席事務局	山内事務局長、鈴木議事調査係長、佐藤主任		
傍聴者	市民1名	報道関係者0名	議員1名(三宅)

会 議 の 概 要

1 4 : 5 8

1 開会 (小川委員長あいさつ)

(事務局説明)

<事務局主任>

本日は、前回配付資料を踏まえ、対象事業の決定を行っていただきたい。なお、対象事業数は、3項目程度を目途にお願いしたい。

2 事務事業評価対象事業の選定

<小川委員長>

それでは、これより対象事業の決定を行う。各委員が事前に抽出した内容の資料を配付した。資料に基づき、各委員から抽出した事業とその理由、論点などを報告願う。まずは、田中委員から願います。

<田中委員>

「商工業振興対策経費」を抽出した。一般財源もかなり大きく、予算総額も大きい中で、どこにどれだけ出したのか、また効果がどうであったか聞きたい。

<藤本委員>

「観光地環境施設整備経費」を抽出した。昨年より若干予算が増えているが、観光地にふさわしい雰囲気をつくるために、環境整備を推進し、観光客を迎える体制づくりと魅力ある観光地づくりに努めるという内容だが、具体的にどこに何をしているのかわからないのでそこを知りたい。具体的な効果はどうか。整備に関して、誰が決めているのかわからない。オリンピックと大河ドラマが終わった後の仕掛けを何か考えているのか聞きたい。もう1つ、「バス交通関連経費」については、バス路線の拡張だけでなく、地域を含めた考え方を聞きたい。

<菱田委員>

特に整理しなければならない事業はなかった。

<赤坂委員>

「観光推進経費」を挙げた。外国人観光等、どれだけ観光客が来て、誰が担当して、どういう結果になっているのかわからない。実際にお金を使っていない。職員がどれ

だけ関わっているのか。負担金の中に人件費が入っているのかなどははっきりしてほしい。予算をしっかりとかけるなら、来年どれだけの観光客を呼んで、どれだけ収益あげるのかしっかりわかるようにしてほしい。

「大河ドラマ誘致活動事業経費」については、見通しをどれだけ持ってやっているのか知りたい。一気に予算をかけ過ぎている。

「地域経済活性化対策経費」については、ひなまつり事業を2カ所だけでしており、やるのなら亀岡全体でするべきである。なぜ、2カ所なのかわからない。

「緑花推進経費」については、市内に緑がたくさんあるのに、まだ緑にお金をかけるのかと感じる。これから、どういうコンセプトでやっていきたいのかを聞きたい。予算が大きいので、削減できるところがあればしていくべき。しっかりとしたビジョンがあれば、お金をかけてもいいと思う。

<竹田委員>

縮小や廃止しなければならないものはなかった。

<奥野副委員長>

「交通安全施設整備経費」については、今後防犯等を考慮して、まちや通学路が暗いとよく聞くので、もっと積極的に事業を進めていってもいいのではないかと考える。

「道路維持経費」については、水害等による道路整備が遅れているので、通学路の安全確保交通安全を考えると、拡充が必要であると考えます。

<小川委員長>

藤本委員と同じく「バス交通関連経費」について挙げた。1億円以上予算がかかっている。現在の利用状況と少子高齢化に対応した公共交通のあり方を考えたい。

<藤本委員>

バス交通関連と観光関連で2つか3つにまとめてはどうか。

<赤坂委員>

ひなまつり事業はどんな意味があるのか。

<藤本委員>

亀岡市では、北町と柳町だけが行っている。他都市では、ひな人形をたくさん集めて、まちを挙げて行っている。亀岡市もやってはどうかと、過去に提案して取り組んでいたが、補助金も減って、高齢化にもなり、今年でやめようという声も上がっている。

<赤坂委員>

地元の商店街でやるのなら、一般財源等を付けずにやればいい。2カ所でやる意味がわからない。

<藤本委員>

亀岡市でも文化資料館等にたくさんのひな人形を集めるなどして、もっと積極的に工夫してやっていくべき。

<小川委員長>

「バス交通関連経費」については、2人から出ているが、対象にしてもいいか。意見をお願いする。

<菱田委員>

2人がより議論を深めたいと言っているので、取り上げてもいいと思う。

<竹田委員>

疑義を感じることをもっと明確にすべき。充実の部分も多いので、ポイントを絞るべき。

<藤本委員>

バスについて、1億円近く予算をかけている。要望があってバスを通したところもあるが、実際乗っている人が少ない。今後高齢化が進んでいったときに、東別院のように、地元へ送迎をしてもらって、運営経費は助成するという方向で行くのかなど、どう考えているのか聞きたい。どんどん拡大する要望にどう対応していくのか、交通体系をはっきり示してほしい。公共交通対策特別委員会でも検討はされていると思うが、目に見えていない。

<小川委員長>

今後の考え方を聞きたい。路線の現状と高齢化に対応する考え方を知りたい。

<奥野副委員長>

「バス交通関連経費」は、最終的に拡充するのか。

<田中委員>

事務事業評価を行うまでに、拡充か削減かの議論はおかしいのではないかと。効果や現状を聞いて、様々な点から拡充か削減を評価するのが事務事業評価だと思う。結論が先に有りきではないと思う。

<藤本委員>

要望に応じて、どんどん路線を拡大していったら、実際収入はどうするのか。税金ばかり投入するのなら、縮小して中心部だけ通らせればいい。山間部は自治会やタクシー会社に委託するなど方法を考える必要がある。そのために、デマンドタクシーについて視察に行ってきた。

<赤坂委員>

「バス交通関連経費」は、難しい問題である。自治会やタクシー会社と連携を取りながらやっていかなければならない。どういうビジョンを持ってやっているのか聞きたい。

<竹田委員>

それぞれの思いに走ってしまっている。事業に対して、効果があったかなかったかの判断は最終的にするので、今は単純にこの経費でわかりにくいところを深めていくという形で挙げてはどうか。

<菱田委員>

この事業について、予算の使い方など書いていることとやっていることが少し違うのではないかと疑義のあるものを抽出すべきである。その辺りを整理していくべきである。

<赤坂委員>

「観光推進経費」は、必要であると思う。たくさん経費がありわからない部分が多い。観光戦略に関しては、抽出して、拡大するのかと削減するのかを深めていくべきである。

<菱田委員>

前回の資料で、観光推進経費は過去2年間続けて抽出して、2年続けて「見直しの上継続」となっている。委員も変わっているが、一定委員会としての答えは出ているのではないかと思う。

<赤坂委員>

もっと力を入れて、しっかりやっていくべき。しっかりすれば、バスの問題も解決してくる。お金が入ったから、ただただやるのではなく、前向きにやってもらえるような環境づくりをしてほしい。

<竹田委員>

「観光推進経費」の項目はたくさんあるので、中身を精査すべきである。色々な意見が出たので、そろそろ多数決でもいいのではないかと思う。

<小川委員長>

多数決を行う。1人3回までの挙手をお願いする。

・バス交通関連経費	6名
・交通安全施設整備経費	2名
・道路維持経費	1名
・商工業振興対策経費	3名
・地域経済活性化対策経費	0名
・観光推進経費	3名
・大河ドラマ誘致活動事業経費	0名
・緑花推進経費	0名
・観光地環境施設整備経費	1名

<小川委員長>

多数決により、「バス交通関連経費」「商工業振興対策経費」「観光推進経費」の3点を抽出する。

なお、現地視察の希望はあるか。

(なし)

3 その他

<小川委員長>

次回の委員会は、限られた時間の中で論点に沿った質疑を行い、円滑かつ適切に評価できるよう、対象項目の論点整理を行う。日程について事務局から説明を。

<事務局主任>

事前の論点整理は、実際に使用する調書で行うのが望ましいため、当日の資料の提出を待ってから論点整理を行ってはどうか。日程案としては、9月議会の常任委員会審査日の議案審査後でどうか。開催日程を決定願いたい。

<小川委員長>

次回開催は9月18日の常任委員会審査日でよいか。(了)

～散会 15:50